

学問・職業の理解を深め将来を考える 美瑛高校「進路ガイダンス」

自分の将来を自分で考える主体性を養成。美瑛高校で7月19日、1学年を対象とした進路ガイダンスが行われた。キャリア教育の一環としてカリキュラムに採り入れられているもので、道内の大学や短期大学、専門学校の講師が職業や仕事に対する考え方を伝えた。講座は、農業・福祉・情報・理美容・調理・観光・事務をはじめ多彩な職種が用意。生徒たちは自分の関心のある講座を選び、それぞれの教室で講義を受けた。一各学

校の勧誘ではなく、まず仕事を知ってもらうことが目的」とされていたことから、各学校の講師も具体的な仕事の内容や心構えなどに重点を置き講義。福祉の現場で行



われているリハビリを兼ねたゲームや、理美容でのヘアカットなどのミニ体験を採り入れた講義もあり、各教室で生徒たちは熱心に耳を傾け、職業への理解を深めた。
2学年の進路ガイダンスも7月14日に行われており、



同じく道内の大学や短期大学、専門学校の多彩な分野の職種が用意。「学問を理解する」との目的のもと、進学・就職といったより具体的な目標に進むための方向性や将来に備えるために必要なものなどを学んだ。
1学年、2学年共に、今回のカリキュラムで仕事に対する意識を高め、10月にはインターンシップで実際に事業所などの現場で仕事を体験。美瑛高校では3年間を通して連動性のあるカリキュラムのもと、自分で考え主体的に行動できる教育を展開、生徒たちの成長をサポートしている。